

TOWN AND CITIZENS RISING TOGETHER



それぞれの小、中学校にはコンピューターが入って、授業に積極的に取り入れて、最先端技術を体験学習しています。

ます。私の考えは、一人一人が多々の話題をもっているのだから「自分は、こうやった、やれた」という喜びを早くわかってもらいたい。それが、一つが二つになり、二つが四つになるといのが河東の力になると思います。

司会 町長はスローガンに『こころ豊かで清潔な活力あふれる町づくり』を掲げていますが、これからの町の将来のビジョンについての考えをお聞かせ下さい。

人と人の心の ふれあいを大切に

町長 政策的に行政を進めるならば一番最初にやるか最後にやるかのどちらかです。

積極的に行うべき事業というのは、一番最初にやらないと駄目だと思えます。また、これからの政策を進めるにあたって私の基本は人です。人と人との心のふれあう豊かなところの自信は持てない。行政というのには住民の方々と積極的な関係を持つべきだと思えます。

これからの時代は多様な行政ニーズを10あるものを10やるわけには行かないという財政的な問題があります。その時に、どこで折り合えるかの話し合いが必要です。色々な施策はあります。要望もありません。それを整理して行くのは、やはり行政だと思えます。

司会 町長からは住民総参加の考えが示されました。皆さんの町に期待する夢やロマンをお聞かせいただけますか。

田辺 行政に期待します。また、一年間通景などの写真作品を文化・産業祭で発表したりをして、自分達から行動をおこして、まず自分達から誇りをもってもらう。それからお年寄りから子どもまでが関わりあえるお祭りが河東を活性化させる大きなポイントだと考えています。

川口 住民の主体性

を活かしていくのが行政だと思えます。バランスのとれた町づくりをしてほしいです。

石井 町長は、第一に国際化と情報化を掲げています。子ども達に世界に通用する力を

つけさせてほしいと思います。ぜひ新しい方向性を探ってほしいと思います。

佐藤 町長がいわれた『住民との直接的なつながり』はぜひお願いしたいと思えます。例えば、意見箱を設けて広報



●夏のふるさと盆踊り大会